

動く世の中、視点を変えれば見えてくるものがある。ホンネで言いたいことがある。



瓦ばん！

平成22年4月3日発行 季刊

発行責任者：根っから地元派 ばん よしはる

ban-4@ares.eonet.ne.jp

第11号

こんにちは、ばんよしはるです。さあ、新年度が始まりました。
平成22年度の予算も3月議会で審査し決議が終わりました。
昨年政権交代があり、国の動向が不確定なため、基礎自治体への影響がどのように表れるかが今後の問題になっております。

そこで、広報いかるがにも掲載されますが、皆様の生活に係わる、今年度の新規事業をご紹介します。

まず、現在町内を巡回しているコミュニティバスですが、運行開始後10年が経過し30万キロ以上の走行距離になっているため、新しいバスに更新されます。
町として将来的には、2台体制にして住民の利便の向上を考えたいとの方針のようです。

次は、町のホームページの充実されます。誰もが見やすく、誰もが利用しやすい、新しいシステムの構築が図られます。世界遺産の在る町「斑鳩」の魅力を全国に向けて発信するため内容が変更されます。

新年度の大きな施策は、やはり「子ども医療費の助成」です。
就学前の乳幼児及び小学生、中学生の入院・通院費の保険診療のうち自己負担分を助成するもので、子どもさんのおられる家庭の負担軽減を図るのが目的です。
若い方々が子育てにやさしい町、斑鳩町に住んでよかったと思っていただければ、斑鳩の今後の発展に繋がる施策になります。

また、斑鳩町では資源循環型社会の構築を推進するため、生ゴミ分別収集モデル事業の拡大、家庭系剪定枝葉・刈草の分別収集、廃食用油のバイオディーゼル燃料化（BDF）を実施し、「斑鳩町バイオマスタウン構想」に基づき、バイオマス（生ゴミ、剪定枝葉、廃食用油等）の利活用の推進を図っていく予定です。

住民の安全を守るため、昭和56年5月31日以前に着工された2階建て以下の既存木造住宅にお住まいの住民の方が、木造住宅耐震診断の結果、耐震性が不足していると判断された後、耐震改修の工事に対して工事費の一部を支援するようになります。
詳しくは、都市建設部にお問い合わせください。

学校関係では、小学校の1年生から3年生までと中学校の1年生を対象に30人学級になり、今まで以上に決めの細かい指導ができるようになりました。

新規事業の中から、一部を紹介させていただきました。

この「瓦ばん！」では町議会議員の毎日の中で感じたこと、活動や思ったことを紹介していきますので、皆様からのご意見・ご感想がありましたら、お知らせ下さい。宜しくお願いいたします。